

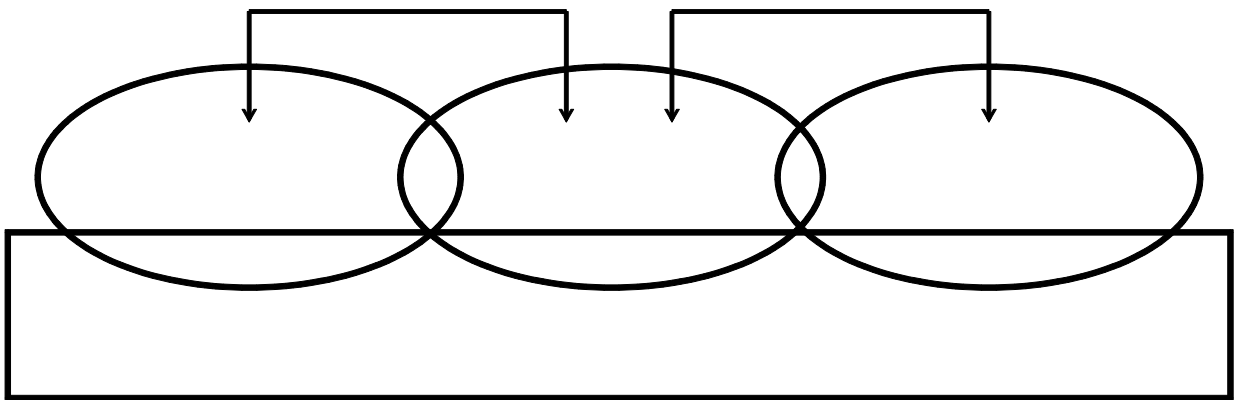
社会人基礎力

1. 社会の変化

- * 社会は成熟化し、市場ニーズの多様化や商品サイクルの短期化をもたらした。
- * IT化の進展は職場の単純な作業を機械化した。
- * 家庭や地域社会の教育力が低下した。
- * 大学進学率の上昇した。

2. 社会で求められる能力

- * 「既存の成功モデルの踏襲」から「新しい価値の創出」へ。



人との関係を作る能力

人との接触の中で仕事に取り組む能力。

【例】コミュニケーション能力、協調性、働きかけ力 等

課題を見つけ、取り組む能力

新しい価値創出に向けた課題の発見、関係者からアイデアの収集、実現のための試行錯誤。

【例】課題発見力、実行力、創造力、チャレンジ精神

自分をコントロールする能力

【例】責任感、積極性、柔軟性

基礎学力

【例】読み書き、算数、基本ITスキル等

専門知識

【例】仕事に必要な知識や資格等

社会人基礎力

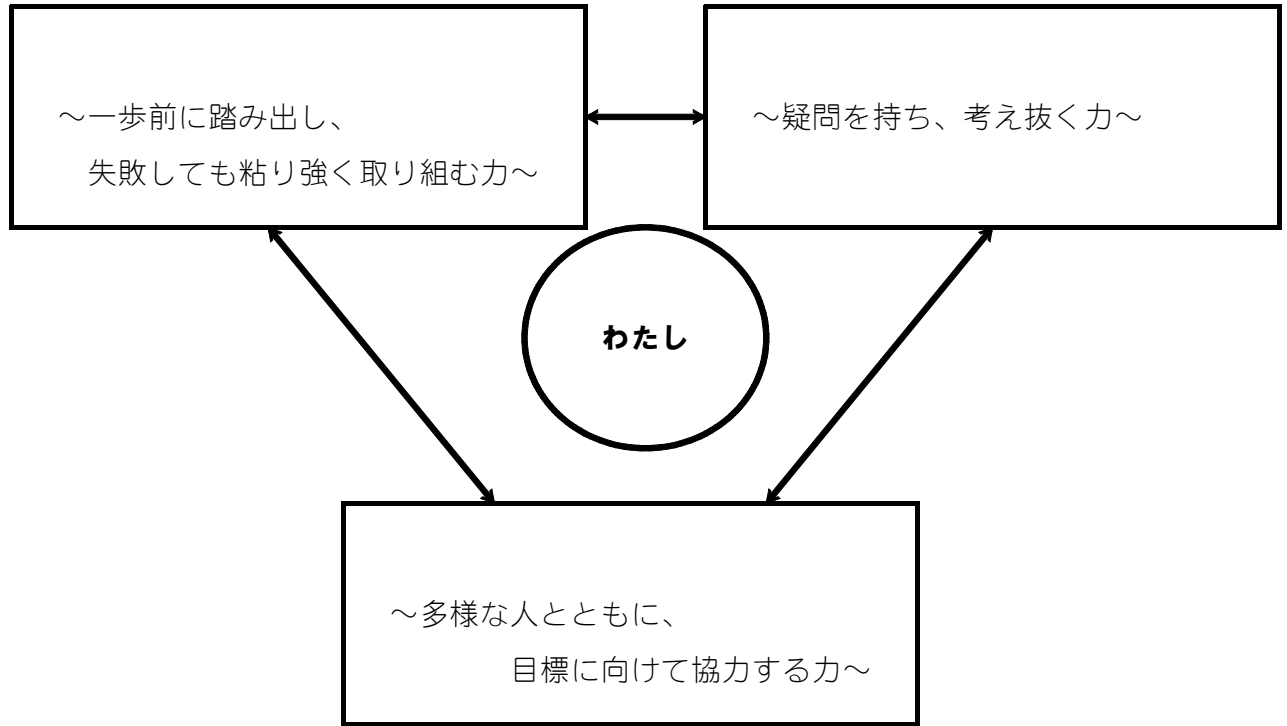
【例】コミュニケーション力、実行力、積極性等

人間性・基本的な生活習慣

【例】思いやり、公共心、倫理観、基本的マナー、身の回りのことを自分でしっかりとやる等

3. 社会人基礎力

* 経済産業省では、2005年7月から、我が国の経済活動等を担う産業人材の確保・育成の観点から、職場等で求められる能力（「社会人基礎力」）の明確化、企業における人材確保・育成、企業や若者の双方に納得感のある就職プロセスの在り方等について検討を進めている。



○社会人基礎力

組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力。

- (1) 「前に踏み出す力」（アクション）～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～
実社会の仕事において、答えは一つに決まっておらず、試行錯誤しながら、失敗を恐れず、自ら、一步前に踏み出す行動が求められる。失敗しても、他者と協力しながら、粘り強く取り組むことが求められる。
- (2) 「考え抜く力」（シンキング）」～疑問を持ち、考え抜く力～
物事を改善していくためには、常に問題意識を持ち課題を発見することが求められる。その上で、その課題を解決するための方法やプロセスについて十分に納得いくまで考え抜くことが必要である。
- (3) 「チームで働く力」（チームワーク）～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～
職場や地域社会等では、仕事の専門化や細分化が進展しており、個人として、また組織としての付加価値を創り出すためには、多様な人との協働が求められる。自分の意見を的確に伝え、意見や立場の異なるメンバーも尊重した上で、目標に向けともに協力することが必要である。

前に踏み出す力 (アクション)		物事に進んで取り組む力 例】自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。
		他人に働きかけ巻き込む力 例】目的に向かって周囲の人々を動かしていく。
		目的を設定し確実に行動する力 例】自ら目標を設定し、失敗を恐れず粘り強く取り組む。
考え抜く力 (シンキング)		現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例】目標に向かって、問題を発見し、解決する。
		課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 例】課題の解決に向けて検討し、準備をする。
		新しい価値を生み出す力 例】課題に対して新しい解決方法を考える。
チームで働く力 (チームワーク)		自分の意見をわかりやすく伝える力 例】自分の意見を整理し、理解してもらうように伝える。
		相手の意見を丁寧に聴く力 例】話しやすい環境をつくり、相手の意見を引き出す。
		意見の違いや立場の違いを理解する力 例】相手の意見や立場を尊重し理解する。
		自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 例】チームで自分の役割を理解する。
		社会のルールや人との約束を守る力 例】社会のルールに則って自らの発言や行動を律する。
		ストレスの発生源に対応する力 例】ストレスをポジティブに捉えて対応する。